



EMタイプの据付方法

■ EMタイプの設置条件

EMタイプは、正面上扉が手前に倒れます。
前面から**最低でも500mm以上**はあけてください。



※土間や砂利など地面が不安定な場所や、
高台、道路際などは設置に向いていません。
必ず安定した地面に設置してください。

×良くない設置例



■ EMタイプの設置注意点

EMタイプの扉は、観音開きのように開きます。開いた時に壁等があると、扉が壁に
当たる事がありますので、**壁際から最低150mm程度離して**設置して下さい。※
(ただし例外として①、②の場合は壁にくっつけて設置可能です。)



※150mm以上あけることが難しい場合は、
扉のチェーンで開閉角度を調整し、
80mm程度まで近づけることができます。

例外① 幅1500mmのタイプ(EM2・13・14)



例外② ブロックの高さが700mm以下



■ EMタイプ 扉の開閉角度調整方法 (必要に応じてご対応ください)

設置条件でやむを得ず壁との距離が150mm以下となる場合、扉のチェーンで開閉角度を
調整出来ます。

※薄いスパナが2本必要です。
(ホームセンターや100円ショップにもあります。サイズは10mmです。)



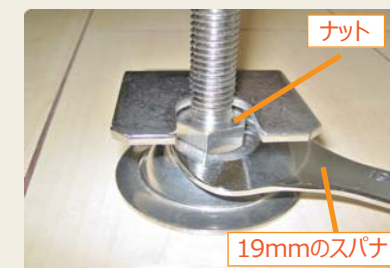
1. 1ヶ所につきナットが2個(ダブルナット)あります。写真のように、薄いスパナ等でボルトの
根元側のナットを押さえながら、もう片方のナットを緩めます。
2. ナットを緩め、チェーンの差し込み位置を変えると、扉の開閉角度が変わります。
取っ手や扉が当たらない位置で調整してください。
3. ナットを締める場合は、緩める時と逆の手順です。根元側のナットをスパナで押さえながら、
もう片方のナットを締めます。

※角度を垂直にしすぎますと、回収中や清掃中に風や振動で扉が倒れて怪我をする恐れが
ありますので、垂直にはしないでください。



固定工事完了後に、扉のズレなど、
水平がずれてしまった場合でも・・・
⇒高さ調整可能です！

19mmの薄いスパナで
横からナットを回しながら、
高さを調整してください。





■ アンカーの固定工事

①最初に水平を出します。



水平器を使って、前後左右の水平を出します。
アジャストボルト(4コーナーにある足)を回して、水平が出るように高さを調整してください。
勾配が25mm以上の場合、オプションのアジャストボルトをご使用ください。(※2ページ参照)
※ボックス内に雨水等を溜めたくない場合は、やや前傾になるように調整します。



もしも水平が出ていなければ、○のように左右の扉がズレてしまいます。
扉のズレが無ければ、水平が出ている事になります。

②アジャストボルトに固定金具を乗せます。



◎このナットの上に
固定金具を乗せます

◎この部分に隙間があればOKです

下の写真のような乗せ方では、アンカーが効きません。
(本来はこの乗せ方ですが、アースボックスに関しては、左の写真のように乗せてください。)



×ナットの上に乗っていません

×隙間がありません



③ハンマードリルで地面に穴をあけます。



写真のように、②の固定金具に開いている穴を、ボックス内の中心部に向けて置きます。
その後、ハンマードリルで地面に穴をあけます。

アンカーは、基本的に4コーナー全てに打ちます。
地面の状況により難しい場合は、3ヶ所でも可能です。
2ヶ所の場合は対角に打ってください。



④アンカーを打ち込みます。



アンカーを穴に入れ、ハンマーでアンカーのピンを叩きます。
写真のように、ピンを叩く打ち込み棒があると叩きやすいです。
(ピンを叩く時は、ピンが折れないように気を付けてください)



地面の穴の深さに合わせて、
アンカーの↔の長さを調整してください。
アンカーのナットを回して調整します。



ピンを叩いた後、締められるようでしたら、アンカーのナットをボックスレンチ等で締めます。



【叩きかたのコツ】

アンカーが穴に入りづらい場合は、
打ち込み棒やハンマーなどでナット
部分を叩くと、簡単に入ります。



⑤最後にカバーをかぶせてネジで締めたら、終わりです。



角穴にカバーをかぶせてネジで締めます。
ネジは4ヶ所仮締めを行ってから、本締めして下さい。

(白いビニール面の方が上側になります。
剥がしてかぶせてください。)